国立国会図書館における 『日本目録規則2018年版』適用開始後の 課題とその取組状況について

令和4年3月1日 令和3年度書誌調整連絡会議 収集書誌部収集・書誌調整課 村上 一恵

@国立国会図書館

目次

- 1.NDLにおけるNCR2018の適用
- 2.課題(1)著作課題(2)体現形の情報源
- 3.実務者による情報交換
- 4.今後の検討事項



●国立国会図書館

1. NDLにおけるNCR2018の適用

2017年2月	JLA目録委員会によるNCR2018素案公開
2017年5月	NDL適用細則の検討開始
2018年12月	JLAによるNCR2018刊行
2019年10月	NDL適用細則(案)の公開開始
2021年1月	NCR2018適用開始、NDL適用細則の確定版公開
2021年9月	「著作に対する典拠形アクセス・ポイントの選択・形式 基準」の更新



🔼 適用後の実作業を通じて、明らかになってきた課題が・・・

@国立国会図書館

3

2. 課題(1) 著作

著作の集合

構成要素

構成要素

構成要素

2(1)1. 著作の集合・構成要素

適用開始当初は構成要素の著作のみ考慮(著作の集合は作成対象外)

- →選択・形式基準を更新(2021年9月)
 - ①著作の構成要素のタイトルが一般によく知られている場合は、 構成要素の著作を選択
 - ②①に該当しない場合は、著作の集合を選択 (古典作品は著作の集合が一般によく知られている場合に限定)
 - ※一般によく知られている=参考図書に掲載されている

◎国立国会図書館

2. 課題(1) 著作

2(1)1. 著作の集合・構成要素

一般によく知られている著作の 構成要素のタイトル

= 「古今和歌集」の典拠を作成

八代集
古今和歌集
後撰和歌集
拾遺和歌集…

八代集は「著作の集合」 だが、各構成要素の著作 のタイトルが一般によく 知られているので、 八代集の著作典拠は作成 しない



@国立国会図書館

5

2. 課題(1) 著作

2(1)1. 著作の集合・構成要素

古典作品の場合、一般によく知られている著作の集合のタイトル

= 「古今和歌集」の典拠を作成



和歌1首1首も 「著作」といえるが、 著作典拠は作成しない



●国立国会図書館

著作の全体

第2部

第3部...

2. 課題(1) 著作

2(1)2. 著作の全体・部分

古典作品は著作の全体、近現代の作品は著作の部分を選択するこ ととしていたが、近現代の作品でも全体を選択したほうが利用者 に有用と思われる場合がある

→選択・形式基準を更新(2021年9月)

近現代の作品でも、著作の部分のタイトルが一般によく知られ ていない場合は、著作の全体を選択 第1部

※古典作品は著作の全体を選択(変更なし)

欧国立国会図書館

2. 課題(1) 著作

2(1)2. 著作の全体・部分

ナルニア国物語シリーズは 一般によく知られている 著作の部分のタイトルで作成 The Chronicles of Narnia The Lion, the Witch, & the Wardrobe Prince Caspian The voyage of the Dawn Treader...

← 最後の戦い; さいごの戦い; ナルニア国物語. 最後の戦い; The chronicles of Narnia. The last b

← 銀の椅子; 銀のいす; 銀のいすと巨人の都; ナルニア国物語. 銀の椅子; The chronicles of Na silver chair (ナルニア国物語の The vovage of the Dawn Treader ニア国物語. 夜明けのむこう号の航海; The chronicles of Narnia. The voyage of the Dawn Treader 統一タイトル件名典拠あり)

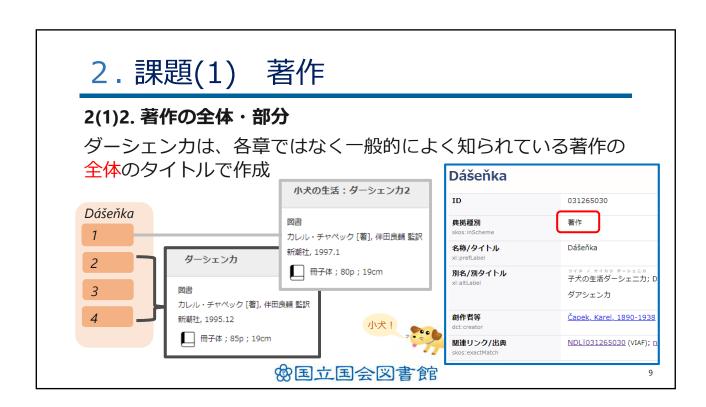
The Chronicle of Narnia

ナルニア国物語

曾国立国会义書館

統一タイトル

著作



2. 課題(2) 体現形の情報源

2(2)1. タイトル

2(2)2. 出版表示

いずれも、NCR2018ではタイトル・ページが優先情報源 従来奥付から採用していた情報が採用できない場合あり タイトル・ページは欧文表記、奥付は日本語表記の場合あり

※適用細則の更新までには至っていない



10

◎国立国会図書館

2. 課題(2) 体現形の情報源

2(2)1. タイトル

タイトル・ページになく奥付にあるサブタイトルを タイトル関連情報として記録 #

博物館の世界教養として知っておきたい

タイトル・ページ

学び直しに活かせる新しい鑑賞術と厳選20館 教養として知っておきたい**博物館の世界**

202X年〇月〇日 発行

#2.1.3.1.2別法を採 用しているため、 記録は可だが、 本則を適用する他 機関とずれる可能 性あり

奥付

◎国立国会図書館

11

2. 課題(2) 体現形の情報源

2(2)2. 出版表示

タイトル・ページにある欧文表記と奥付にある日本語表記 どちらを記録する?

#2.5.3.1.2どおりなら、 本タイトルと同一の 情報源=タイトル・ ページが最優先 おはなし図鑑シリーズ **いきもの** の

Gakken

ふしぎ

おはなし図鑑シリーズ **いきもののふしぎ**

202X年〇月〇日 発行

発行所 株式会社学研プラス

タイトル・ページ

奥付

❷国立国会図書館

- ●令和2年度書誌調整連絡会議で、著作典拠作成作業で問題と なった事例を共有できる場があるとよいとの意見あり
- ●「国立国会図書館書誌データ作成・提供計画2021-2025」 https://www.ndl.go.jp/jp/library/data/bibplan2025.pdf 関係機関との連携協力も取組事項のひとつ
 - →実務者による情報交換体制を確立
 - ・実務者によるメーリングリスト(2021年7月~)
 - ・Webex Meetingsによる情報交換(2021年9月3日)
 - ・検討状況アンケート(2021年9月)

@国立国会図書館

13

3. 実務者による情報交換

●Webex Meetingsによる情報交換

各機関のNCR2018適用(に向けた)検討状況の共有

2022年1月からNCR2018対応の 書誌データおよび著作典拠の提 供を開始予定(TRC) 和洋ともRDA適用。著作の典拠コントロールは対応未定(早・慶)

どこまで著作典拠を作成する か検討中 (これから委員会)



適用開始時期は未定・未検討 (トーハン、都立)

◎国立国会図書館

著作の選択・形式基準 を更新(NDL)

3(1) 著作典拠について

メーリングリストでNCR2018適用にあたり悩んだ事例、課題の 共有。NDLからは主に著作典拠作業で検討した事例をお知らせ

識別要素を複数記録するときの 順番、記録方法は?

「魏志倭人伝」で著作典拠は作れる?

明治期の翻案小説は派生著作?

◎国立国会図書館

3. 実務者による情報交換

3(1) 著作典拠について

アンケートで著作の優先タイトルの 言語について質問

日本語(ただし、原語のタイトルも 典拠形APに含める)(TRC)

日本語(検討中)(トーハン)

原語 (これから委員会)

古典作品は日本語 近現代の作品は原語 (NDL)



16

炒国立国会図書館

3(1) 著作典拠について

アンケートで著作の集合・構成要素どちらの典拠を作成するか質問

構成要素のタイトルが2以上の体現形のタイトルとして出現した場合は、構成要素。そうでなければ、集合(TRC)

受入MARCによる(これから委員会)



構成要素が一般によく知られている固有のタイトルであれば、構成要素。そうでなければ、集合(NDL)

學国立国会図書館

17

3. 実務者による情報交換

3(1) 著作典拠について

アンケートで著作の全体・部分どちらの典拠を作成するか質問

古典作品:全体 近現代の作品:未定(トーハン) 古典作品:全体 近現代の作品:全体・部分両方のタイトル が一般によく知られている場合 (両方のタイトルで出版実績がある場合)

は両方 (TRC)

古典作品:全体 近現代の作品:部分(一般によく知られている 固有のタイトルの場合)、そうでなければ全体 (NDL) 受入MARCによる (これから委員会)

◎国立国会図書館

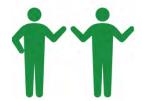
3(2) 体現形の優先情報源について

Webex Meetingsで意見交換

タイトル・ページから採用しなかった場合は注記すべき?

欧文表記の場合は適用機関の裁量の 範囲で「不十分」とみなせるか?

特に和図書の出版表示については、 タイトル・ページではなく奥付を 優先情報源にせざるを得ない?



書誌の同定にも影響してくる・・・

∞国立国会図書館

19

3. 実務者による情報交換

3(2) 体現形の優先情報源について

アンケートで出版者の情報源について質問

奥付を最優先 (トーハン)

本タイトルと同一の情報源優先だが、和書の場合、タイトル・ページがアルファベット表記の場合は奥付採用(早・慶)

本タイトルと同一の情報源優先 (NDL、これから委員会)

和書では奥付を優先。タイトル・ページがあってもその情報が不十分な場合が多いため(TRC)



●国立国会図書館

4. 今後の検討事項

- ●実務者による情報交換では、情報と課題の共有を行う
 - →NCR2018適用の検討に資する
- ●課題の解決に向けて:各機関で利用者層や利用者ニーズの相違はあるが、円滑な書誌データ流通のために何ができるか?



●国立国会図書館

21

ご清聴 ありがとうございました



∞国立国会図書館